

2019
2/17
[日]



日本西アジア考古学会



古代オリエント博物館 主催

会場

池袋サンシャインシティ

文化会館7階

会議室704/705(講演)
古代オリエント博物館
(ギャラリー・トーク)

13:30~15:50
講演(途中休憩あり)
16:00~17:00
茶話会・博物館見学

西アジア考古学 トップランナーズセミナー



日本西アジア考古学会と古代オリエント博物館は、西アジア考古学の魅力を一般の方、また中学生や高校生、大学生などの若い世代に伝えるため、研究の第一線で活躍する考古学者との交流の場として、「トップランナーズセミナー」を開催いたします。

第3回となる今回は、インダス文明をはじめ南アジア考古学の研究者として知られる上杉彰紀先生と、近年、バハレーンなどをフィールドに活躍する安倍雅史先生を講師に招き、ご自身の研究また研究の歩みに関して、お話しいただきます。

講演後には、参加者を対象に講師のお2人を囲んだ茶話会や古代オリエント博物館の見学会を予定しています。



上杉氏による調査は
クローズアップ展
「南インドの巨石文化を掘る」
(2/9-3/31開催)にて
パネルと模型で紹介中!

来たれ学生諸君!
未来の考古学者を目指す君、
歴史好きの君。
歴史が苦手な方もぜひ!
大人も参加できます。

『ディルムン-メソポタミアと インダスを結んだ海洋文明』

安倍雅史

東京文化財研究所・研究員

『考古学からみたインド世界』

上杉彰紀

関西大学・非常勤講師
金沢大学国際文化資源学研究中心・客員准教授

1976年東京都出身。イギリス、リヴァプール大学博士課程修了。PhD。1997年より、シリア、ヨルダン、イラン、バハレーン、キルギス、アフガニスタン、カンボジアなどで考古学調査と文化遺産保護に従事。現在、メソポタミアとインダスを結んだ海洋文明ディルムンの調査を実施。著書に『消滅遺産-もう見られない世界の偉大な建造物』(監修、日経ナショナルジオグラフィック社)、『世界遺産パルミラ-破壊の現場から』(共編、同成社)、『イスラームと文化財』(共編、新泉社)などがある。

1971年金沢生まれ、大阪育ち。2003年に関西大学より博士号を取得。インド、パキスタン、バハレーンなどで考古学研究を進めてきた。南アジアにおける青銅器時代から鉄器時代にかけての都市社会の変容過程および南アジアと周辺地域との交流関係について関心を寄せる。著書に『Iron Age in South Asia』(関西大学)、『カトールレック所蔵パルミラ-チスターンの彩文土器と土偶』(カトールレック)ほか論文多数。

参加学生全員に、
もれなくプレゼント!

※学生証をご持参ください。

NOW
PRINT
ING...

冊子
古代オリエント博物館
×
高校世界史
試験を楽しむ
キーワード
100

※学校教育関係者で、教材としての活用を希望される方は、お申込みの際にお知らせください。



事前申込制 | 参加費無料

定員	先着130名
申込締切日	2019年2月15日(金)
申込先・お問合せ	日本西アジア考古学会事務局 MAIL: office@jswaa.org FAX: 029-853-4432
申込方法	日本西アジア考古学会ウェブサイト http://jswaa.org をご覧下さい お申込みの際には、●氏名 ●連絡先(メールアドレスかFax) ●学年(学生の場合のみ)をお知らせください。※お電話でのお申込み・お問合せは受け付けていません。